

# 町政を問う



集落共同作業



田邊 公教

## 小規模集落の再編

### 必要と考えるが強く指導しない

**田邊** 町の行政や町づくりを進めるうえで、集落の役割は極めて重要である。山間部では戸数の減少と高齢化により集落の存続が困難な状況が進行しつつある。集落の活性化

化対策をどのように進めるつもりか、特に溝口地区には小規模集落が多いが、再編を指導できないか。  
**町長** 集落は町行政や町づくりを支える上で最も基礎的な自治組織であり、集落機能の低下や削減は、自治機能の低下につながり、さらには過疎化の進展や地域の荒廃につながる懸念される。

町では総合計画の中に「協働のまちづくりや、伝統文化の継承」により、住民の自主的な地域活動の支援を行い、地域を活性化することを目指している。協働のまちづくりを推進する具体的な方策として、継続的な協働への意識改革と地域リーダーの育成が必要と考えている。小集落の再編は、必要と考えるが立地条件、歴史的な背景、地縁、血縁によるつながり、所有する財産など再編の障害条件もあるので、町の指導は無理があると考えている。

#### 地域自治活動交付金

**田邊** 岸本地区と溝口地区の同規模集落で地域自治活動交付金に格差がある。区長協議会並びに部落代表者の合同会議に検討委員会が設置され、試案が提示されているが、岸本地区においては、現行よりもかなり引き下げられた交付金となつてい

る。区長さんと部落代表者の方に五つの試案を提示説明している。試案の大半が、岸本地区に比べて現行よりかなり額が引き下がったものとなった。現在委員会を組織し、検討しており、責任を転嫁しようとしているのではなく、住民の方の理解を頂ける内容となるよう意見をお聞きした。限られた財源の中でできるだけバランスのとれたものにしたと考えている。

られた交付金となつてい。検討委員会を防波堤にすることのないようきちっとした案を提示し、よく説明の上、理解を得るべきではないか。財政上は大変であるが、岸本地区の交付金に溝口地区を合せる試案があつてもよいではないか。両地区の集落のバランスをとるためにも集落の再編も検討すべきではないか。町長の所見を伺いたい。

**町長** 地域自治活動交付金は、合併時に調整されており、岸本地区、溝口地区ごとに算出し、その年の四月一日時点の世帯数に三、三五〇円を乗じた額を地区ごとの総額として岸本地区は世帯割が五割、均等割五割、溝口地区は世帯割が六割、均等割が四割で計算してい